

各部（公室・局）長
教 育 長
警 察 本 部 長
各種委員（会）事務局長
議 会 事 務 局 長
企 業 局 長
病 院 局 長

} 様

総 務 部 長

令和4年度予算の編成について

本県は、平成28年熊本地震（以下「熊本地震」という。）、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）、令和2年7月豪雨災害（以下「豪雨災害」という。）という三重苦の逆境にあり、これまで経験したことのない危機のさなかにあります。

これら3つの課題への対応を最優先に、これまで、迅速かつ躊躇なく、様々な取組みを進めてきましたが、引き続き感染症への対応は予断を許さず、熊本地震と豪雨災害からの創造的復興についても道半ばであり、更なる取組みの加速化が必要です。

一方で、これらの課題に対応するため、累次の予算を編成しており、令和3年度当初予算編成後では財政調整用4基金は56億円へと減少し、2つの災害への対応に伴い県債残高も漸増し、令和4年度の大まかな収支見通しにおいては、52億円の財源不足が見込まれています。また、令和4年度予算編成方針と併せて策定した「中期的な財政収支の試算」（以下「中期試算」という。）では、令和4年度以降5年間において、各年度14億円から52億円、累計186億円の財源不足が生じ、県債残高は、今後も増加していくことが見込まれるなど、中長期的な財政状況も厳しい状況にあります。

このようなことから、真に必要な事業への選択と集中を徹底し、将来負担を考慮しながら、新型コロナウイルス感染症による危機の克服、2つの災害からの創造的復興を成し遂げ、さらには将来の熊本の発展につなげていかなければなりません。

令和4年度予算は、こうした考えのもとに編成することを念頭に、各部局におかれては、別添「予算編成要領」及び「予算要求基準」により、11月5日（金）までに予算要求書を提出されるようお願いいたします。